

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

こんにちは。東日本営業部 野中です。前号より旅行業界の「今」と「これから」についてお送りしていますが、今月号ではその後編として、旅行業界に生まれつつある動向や取り組みなど「これから」について一部ご紹介していきたいと思っております。

株式会社KBS創研 執行役員 東日本営業部長兼広報室長 野中瑠美子



旅行業界の「今」と「これから」(後編)

最近では、旅行とひとくちにいても、各個人さまざまな概念が存在しているように思います。世界遺産や観光名所といわれる有名な場所へ出かけるだけが旅行ではなく、限られた時間と予算を有効活用した旅のスタイルとして、宿泊を伴わない日帰り旅行のシェアも増加しています。また例えば、出張の合間にご当地の食を堪能する、空いた時間でまちを散策するなど、その地の魅力を味わう時間そのものが今や旅行の一部であるにとらえてもよいのではないのでしょうか。

そんなふうにも、空いた時間で「ちょっと旅する」という楽しみ方もぜひおススメしたいと思っています。普通なら日帰りするような場所(居住地の近隣エリア等)へ敢えて宿泊し、旅行者目線で地元を見直してみたり、日常空間の中で非日常な出来事(普段

はしないことを経験したり見聞きする等)を体験してみることができれば、自身の生活圏すらも立派な観光地と思えてくるのではないのでしょうか。

私の周囲にもそんなふうな旅をとらえている方々が実在し、そう考えると「テーマ型旅行[※食や体験など強いテーマ性(こだわり)を持った旅行商品のこと]」とはどこにでもあるもののような気がしてきます。ワイン好きの方がワイン畑を巡る旅をすること、音楽好きな方が音楽家の生家を訪れたりコンサートを見に出かけること。ぜひ皆様も、既存の旅行スタイルだけにとらわれず、人それぞれが持つ「テーマ型旅行」を見つけ体験して頂きたいと思っています。

「テーマ性」にこだわった旅の提案～これからの旅のスタイルを考える～ [事例：京都の旅]

京都へ旅行にでかけたことのある方はたくさんいらっしゃると思いますが、既存のパンフレットやインターネットではなかなか知り得ない、そんな体験ができる旅があったら・・・

今回は旅行業界の「これから」について考え、今後消費者ニーズの高まりそうな「人」が紡ぎだす旅行のカタチ、「特別な京都」と題したテーマ性こだわりのある旅づくりをご紹介します。

- その壱：京都に精通した前門のコーディネーターが同行し、詳細な解説や案内を受けながら食・社寺仏閣・観光スポットを巡ることができる。
- その弐：コーディネーターの口利き(一見さんお断りのため、信頼に足る人脈の紹介が必要)がなければ入れないような料亭や、一般では受け付けていない特別拝観・ライトアップなどが堪能できる。
- その参：一般の旅行商品や既存の観光パンフレットでは知り得なかった特別な施設・スポット等へ訪問することができる。
- その四：旅行滞在中においても、現地情報に精通したコーディネーターであるが故に、参加者の要望に最大限沿った臨機応変かつきめ細かな調整が可能。

みでらせんにゆうじたちゅううんりゆういん

「御寺泉桶寺塔頭雲龍院」特別参拝(ライトアップ)

京都東山、御寺泉桶寺本坊南の高所に位置する別院。後光厳院の思召しによつて、竹巖聖皇(しょうこう)が開いた寺で、皇子・後円融院はここに如法写経



の儀を興そうと寺領を寄せられた。また後小松、称光の両天皇もこの寺を崇敬され、四天皇崩御の後は後山に御分骨所が営まれ、北朝歴代の御尊牌が靈明殿に奉安されている。本堂(重文)安置の本尊・薬師三尊(薬師・日光・月光)は極めて写実的な鎌倉時代の作、また「走り大黒天」が有名。お菓子とお茶をいただきながら鑑賞する庭の美しさも格別。

【こだわり】住職自らの案内・説明(歴史・由緒など)を頂きながら拝観。通常非公開(又は期間限定公開)のスポットを訪れることができる。

「旅亭 左阿彌」一見さんお断りの本物のお茶屋さんでの体験

ヴェールに包まれた花街の世界。京都に現在も続く五花街の一つ、宮川町(又は祇園)の、通常は「一見さんお断り」の本物のお茶屋さんにて、夕食とお茶屋遊びを楽しんでいただくひととき。「金毘羅ふねふね」、「とらとら」など、地方(三味線を弾く芸妓)のリードで、舞妓さんと一緒に代表的なものも体験していただく。「お座敷遊び」の進行にルールはなく、花街の魅力をこころゆくまで堪能する。【こだわり】紹介がなければ(一見さんお断り)入店できないお茶屋。舞妓さんだけでなく地方や女将さんの同席が叶うのはコーディネーターの監修ツアーならでは。



「テーマ性」にこだわった旅の提案～これからの旅のスタイルを考える～ [事例：京都の旅]

にしきおり・たつむらこうほうこうほう

「錦織・龍村光峯工房」 特別案内

1200年以上前に中国から日本に伝わった高機（たかばた）という機を用いて手織されてきた、多彩で精緻で豪華絢爛な絹の紋織物「錦織」。その作家である龍村光峯（たつむらこうほう）氏、次代を担う龍村周（たつむらあまね）氏の工房を訪ねる。「錦」は練達の職人たちの技を集め、数ある工程を経て、丹念に時間を惜しまず作り出される。龍村光峯氏は、職人たちをまとめあげ、色鮮やかで煌びやかな「錦」へと昇華させるのである。その作品の美しさと、それを生み出す龍村氏の人柄を感じられるひととき。

【こだわり】龍村周氏が自ら工房を案内し、その職人技や錦の歴史などについて説明を聞きながら見学できる。



かんがあん

「閑臥庵」 禅寺で頂く京懐石普茶料理



「閑臥庵」は山号を瑞芝山（ずいしざん）という黄檗宗の禅寺。もとは、梶井常修院の宮の院邸であったが、江戸時代前期に後水尾法皇が、夢枕に立った父・後陽成天皇の言葉に従って、王城鎮護のために貴船の奥の院より鎮宅霊符神をこの地に勧請し、初代隠元禅師から六代目の黄檗山萬福寺管長千呆禅師が開創となって寺としたのが当寺の起り。閑臥庵の京懐石料理は精進料理で、油を巧みに使うのが特徴で、薬膳料理と相通じるものがあり、材料からしても非常に健康的である。季節の「はしり」「旬」「なごり」を感じさせる味わいが見事。

【こだわり】禅寺で頂く普茶料理、というなかなかないシチュエーションと味わい。また、夜は「坊主バー」でお酒を頂く特別な楽しみ方もある。（要予約）

ぎおん かっぼうなかがわ

「祇園・割烹なか川」



祇園の石畳に沿ってお茶屋が軒を連ねる新橋に店を構えて約40年になる割烹料理店。「温かい鰻も美味しい」という常連客の声から主人が考案した「鰻しゃぶ」をはじめ、諸子の炭火焼き（今は京都以外では捕れない魚らしい）など四季を感じる食材を使用。食材はどれも選びぬいたものばかりで、妥協を許さない食材選びと主人の確かな腕から生み出される割烹料理は、他県の料理人もたびたび立ち寄るほどである。路地奥に佇む大人の隠れ家で、このお店が世に送り出した「鰻しゃぶ」に舌鼓を。

【こだわり】観光客向けではなく地元の人に愛されているお店を紹介。

きょうりょうり きのぶ

「京料理・木乃婦」



呉服商がひしめく室町界隈。「木乃婦」が店を構える岩戸山の町内には、その昔、俳人・与謝蕪村や四条派の画家・幸野楳嶺らも住まいたと伝えられている。選び抜いた素材で作る洗練された料理が、若旦那衆に人気の料亭である。70年続く老舗の暖簾を受け継いだ三代目若主人の高橋拓児氏が、豊かな発想で繰り出すのは従来の概念にしばられない独自の京料理。垣根を越えた多彩な素材を活かし切り、一品ごとに新鮮な驚きと感動を与える。そんな高橋氏のセンスをぜひ舌で感じていただきたいと思い、おすすめする店。【こだわり】京都で生まれ育った専門家だから知り得る、旬の京都の味わい。



【コーディネーター】熊谷 篤（くまがい あつし）ビーンズ株式会社 代表取締役

1961（昭和36）年、京都市生まれ。同志社大学文学部英文学科卒業、同年4月、株式会社日本交通公社（現在の株式会社JTB西日本）に入社。西日本国内商品事業部では京都を中心に西日本地域の魅力的な観光素材を掘り起こし商品化する、企画仕入造成の業務を担当。2007（平成19）京都にてビーンズ株式会社を設立。京都の様々な魅力を、観光商品を通して国内、海外に発信している。

<トピックス>～視察を終えて～

旅行商品は、模倣性が高く独自性を出しにくい性格を持っています。新たな観光ルートを開発しても他社が追随することで供給過多になり、その結果価格勝負になり収益性がダウンする、そんな負のスパイラルが起きやすい業界でもあります。しかしすべての旅行商品がそうなのでしょうか。

私は違うのではないかと考えます。

芸術や歴史、食の世界をテーマにしたいいわゆる特化型ツアーはその道のプロと旅行会社との協働で初めて実現する付加価値の高

いものでありこういったツアーは他社には簡単には真似できないでしょう。

今回私たちが体験した京都の旅も、京都を知り尽くした熊谷氏がコーディネートして初めて実現できた内容であり、氏の人的ネットワーク無くしてツアーは成立しません。

このような性格のツアーをKBSとして数多くコーディネートし旅行業界、観光業界における新たなビジネスモデルの創出に努めてまいります。KBS創研の取り組みにご期待ください。

KBS 創研 代表取締役 小泉寿宏



昨年度の旅行市場の動向を踏まえ、6・7月号と旅行業界の「今」と「これから」をお伝えしてきました。節約する部分とお金をしっかりとかける部分を分ける「メリハリ消費」が一層進むという前号に続き、今月号では「テーマ型旅行」として「こだわりの京都」を紹介。こういう京都を堪能したい！ そう感じた方も多かったのではないのでしょうか。（増田）

株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571
 東日本営業部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル3階 TEL:03-6453-9088/ FAX:03-6453-9089
 <関連会社>ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）
 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855
 特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）
 〒604-8151 京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町222番地京都イノベーションオフィス内 TEL:070-6928-0602

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京